

株式会社黒田精機製作所

愛知県名古屋市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「品質至上・・・良い品づくり、人づくり」
を経営理念に、世界中から信頼される良い
品づくりを目指す

- タイやメキシコなどへの現地法人設立による、海外市場の積極的な開拓
- 冷間鍛造、精密切削、精密研削、アルマイト、アセンブリまでの一貫生産による生産体制の優位性
- 国内外の大手自動車部品メーカーという安定性のある販路の確保による事業の優位性

企業基本情報

所在地	愛知県名古屋市瑞穂区桃園町4番地26号
電話/FAX	052-811-3106/052-821-3106
URL	http://www.kurota.com/
代表者	代表取締役社長 黒田 敏裕
設立	1925年
資本金	7,000万円
従業員数	240人



会社概要

自動車部品製造・販売事業を行い、主な製品はブレーキやエンジンのオイル回路に用いられるピストン及びスプールバルブ。ピストン及びバルブの製造ノウハウの蓄積や、アルミ製品の一貫生産体制等が強み。大手自動車メーカー系小型車種のドラムブレーキには、ほぼ100%黒田精機の製品が利用されている等取引先から継続受注を確保しており、強固な事業基盤を有している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 現地法人設立による、海外市場の開拓

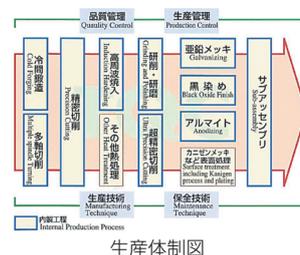
1996年にタイの合併事業に参画、2005年にはタイに100%出資の現地生産法人を設立。2012年には中国に販売会社を、2014年にはメキシコに現地生産法人を設立。タイ、メキシコ共にアルミ製品の冷間鍛造、精密切削、研削加工、アルマイトまでの一貫生産体制を構築、日系の大手自動車部品メーカーだけでなく海外の自動車部品メカサプライヤーとの取引で海外マーケットの拡大を捉えた事業展開を行っている。



上：メキシコ工場、下：タイ工場

▶▶▶ 一貫生産による生産体制の優位性

機械加工や表面処理の両方で高い技術レベルを持つ競合他社は稀有だが、同社は冷間鍛造、精密切削、精密研削、アルマイトなどの一貫生産体制という優れた生産技術を保有している。特に、高い加工精度が必要で、かつキズや打痕などを嫌うブレーキやエンジンの油圧回路の精密部品に適した生産体制を構築し、設備も一部は内製をしている。また、同じコンセプトで海外工場も生産体制を整備し、国内外で高品質な製品の生産を行っている。



▶▶▶ 安定性のある販路の確保による事業の優位性

自動車用ブレーキ・ピストンにおける国内シェアで圧倒的な割合を占める。特に、アルミ製部品の一貫生産体制による加工技術が日本の大手自動車部品メーカーだけでなく、世界最大手自動車部品メーカーにも採用され、ブレーキ・ピストンやエンジン部品を国内外の工場生産し、多数の得意先から国内外の自動車メーカーに供給している。高い技術力と共に、TS16949認証取得など品質管理能力を評価され事業を拡大している。



主要生産製品